



会 長	橋本八右衛門	青少年奉仕	正部家光彦
副会長	妻神 和憲	幹 事	小田山紀暢
クラブ奉仕		会 計	岡崎 孝文
会長エレクト	石橋 信雄	会場監督	鶴飼 寿栄
職業奉仕	山村 和芳	直前会長	紺野 広
社会奉仕	小井田和哉	副 幹 事	中村 稔彦
国際奉仕	深澤 隆	会計補佐	浜谷 英幸

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX	(43) 0661
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	宮下 悟	同副委員長	峯 正一
同 委 員	松林 拓司	同 委 員	上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ!
~個人を磨くとクラブも輝く!再構築ロータリー~

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

2 月 は 平和と紛争予防 / 紛争解決月間です

第3343回例会 2025.2.5

会 長 要 件 橋本八右衛門 会長



先週末2月2日に南部会館で行われました、第20回八戸市競技カルタ小中学生大会が無事終了することができました。参加していただきました皆様、まことにありがとうございました。参加者がどうなるのか、昨年からいろいろ工夫したりしてやっておりましたが、先ずは本当にしっかりと内容も形とすることができました。詳細は後ほど小井田社会奉仕委員長から報告があると思いますので、割愛します。

わたしは会長の立場でしたので、今回はずっと最後までいましたが、今までは最初は朝手伝いに入って、ちょっと抜けて、また戻ってみたいことをやっていたので、なかなか見ることもなかったのですが、参加者の小中学生は本当に一生懸命やっていて、その熱に打たれた次第です。

ちらっと“ちらし取り”、ふつうの百人一首を利用してのかるた形式のものを参加者もやりますが、それに一緒になって親御さんとロータリーの有志で参加してやりました。若

い世代の方はそんなことはなかったと言いますが、われわれの頃は小学校のときに百人一首を使った全校かるた大会が毎年ありましたが、上の句、下の句、百人一首を覚えさせられた覚えがありますし、かるた大会も一生懸命やっていた記憶もあります。それで、少しでも覚えているのかと思って参加させていただきましたが、字面を追いかけるだけで全然覚えていませんでした。お母さんたちは子どもさんと一緒になって自宅で勉強しているようなので、上の句を読むと下の句の字面を探し始めるので、かないっこないわけです。

やはりそういうことをやっていると、もう一回百人一首をやってみようかなという気にそのとき一瞬させられました。参加された村館珠樹さんあたりはけっこう有名な句は抑えて、事務局と連合軍を組んでやっていたようで結構な枚数を獲得していました。

ただ実際に公式なちらし取りの参加者でも、覚えている方と覚えていない方の格差があって、しかも200枚でやった(要するに2枚ある)ので、分かっている方たちは上の句を読まれているときに2枚取ってしまって、さらに枚数の差が極端についてしまった。やり方

を考えたほうがいいのではないかと意見をいただいたりしましたが、親御さんからはこの悔しさが今度やる気にさせるという意見もあり、ひじょうに嬉しく思った次第です。

そういう人たちにかかるた大会を体験する機会を与えて、それが将来かるたの世界に入っていくのか、それが何かのきっかけになっていろいろなことを体験していくのかわかりませんが、何かのためになるようなかるた競技会であればいいな、とふと思った次第です。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



かるた大会に参加して、玄人のお母さんにほこほこにやられました。来年はアダルトの部を作ってもいいのではと思います。

○2月ロータリーレート 1ドル=154円

○「じょっぱり経済学」講師募集について

地区社会奉仕委員会から、青森大学で毎年行われています。教育連携協定を締結しているので、それぞれの分野の県内第一人者による講義を1コマ90分で行う取り組みです。こちらの講師を募集していますので、ぜひ立候補をお願いします。

○2/12 I D Mについて (本日2/5締切)

卓話は村井達さんです。締め切りは今日までです。

○2/22 南グループ I M懇親会費について

当日の会費を事前にいただきたいと思います。事務局へ持参いただくか19日の例会時に事務局にお渡しください。

○事務局お休みについて

2月10日(月)、2月17日(月)はお休みです。

○S M B Cの渡部充さんが2月末で支店統合のため転勤されます。短い間ですがお世話になりましたということで、送別会を開催したいと思います。2月18日(火)を予定しています。詳細は後ほど流しますので、ご検討いただければと思います。

委員会報告

親睦会場委員会

佐藤恒寛委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 村館珠樹さん

・奥様誕生祝

松本剛典・接待一雄

種市良雄さん

・結婚記念日 小井田和哉・小野 恭さん

橋本八右衛門さん いま話題の「立春朝搾り」飲んでいただいた皆様、ありがとうございました。

道尻誠助・渡辺 孝 } ニコニコデー
小井田和哉さん

○かるた大会報告

社会奉仕委員会 小井田和哉委員長



2月2日に南部開会で、第20回八戸市競技かるた小中学生大会を実施しました。“ちらし取り”と“競技かるた”の2つに分かれてやりました。

まず、ちらし取りの参加者は1年生から5年生まで7名。百人一首を2組使って200枚でちらし取りを行いました。やはりちょっと覚えている方は上の句を読まれているところを取ってしまうので、1位は50枚以上取っていて、慣れていない方は数枚しか取れない。50枚取った方は申し込みの時点で競技かるたとちらし取りのどちらにするか迷っていて、最終的にちらし取りに出た方でした。

その後、競技かるたがありました。小学校2、3年が3名、小学校5、6年生が5名、中学生が4名が参加し、全部で3回戦ま



で行って順位を決めました。やはり競技かるたに出る方は上の句ですぐ取る感じの方が多かったと思います。

ちらし取りではお母さまたちとうちの幹事、会長エレクトも混ざってやっていました。一番盛り上がっていたのはお母さんとロータリアンの組でした。来年はぜひちらし取りの保護者大会もやったらどうか。人数が少なめだったので、1時半終了予定が1時間くらい早く全部終わって、片付けをして帰ってきました。

やはり百人一首競技かるたはだんだんやっている方が少なくなっています、日本の伝統文化ですので、ぜひ来年以降も続けていければと思います。

ロータリーの友委員会 道尻誠助委員長



「見て楽しい、読んで感動ロータリーの友」の時間がやってきました。きょうは前半はわたしが、後半は八戸の星の王子様の澤藤孝之さんと

一緒にやります。

今回は2000年～2009年までのロータリーの友から八戸ロータリークラブ関係を拾い、皆さんにご紹介します。

2000年ITバブル崩壊、2001年米国同時テロ多発、日本では郵政民営化、2008年リーマンブラザーズ破綻と、ひじょうに世の中が動いた時代であり、いろいろな価値観が変わりつつあった時代かと思えます。世界は山あり谷ありでしたが、わが八戸ロータリークラブも山あり谷ありの時代だったと思えます。

最初は山ではなく谷でした。2001年7月号。7月は新RI会長の顔写真が表紙を飾る決ま



りがあります。そして各地区ガバナーの横顔紹介。7月号に八戸ロータリークラブから「大島壮介ガバナーが誕生」の記事が載りました。ロータリー歴の古い方はご存じかと思いますが、わたしが入る前でした。

8月号に小さなお知らせがあり、「大島壮介会員が6月7日付でガバナーエレクトを辞退されたのに伴い……」というほんの小さな記事が載りました。9月号に第2830地区パストガバナー黒田正宏先生（八戸南RC）がガバナーを引き受けてくれたという記事が載り、ご紹介されています。「私は1998年～1999年度に続いて2回目のガバナーを担当しています。6月下旬急に決定しましたので、準備不足のままの出発でした……。さらにいろいろ皆さんのご協力をいただき、八戸ロータリークラブを中心とした皆様の支援でやっと軌道に乗ってきたところです。」という文を載せています。「いずれにしてもロータリーは人間関係です。温かい心の触れ合いを大切にしていきたい……。」とあります。ご興味のある方は読んでいただければ。

八戸南RCは、八戸RC創立20周年記念事業として設立したということを知っていますが詳しい方からいろいろお話を伺えればと思っています。

偶然に2006年6月号に、「小中学生かるた大会」の記事が載っています。これはどうしてロータリーと競技かるた大会が共催することになったのかという理由も書いてあります。アットホームな話題ですので、ぜひ読んでいただければと思います。

世の中には、発展途上国ではまだまだ字を書けない、読めない方がいて、その方に読み書きを指導する識字率向上ということで、第55代会長の富岡義勝さんがネパール、東南アジアに出かけ、行ってきたこと、感じていることを書いています。このロータリーの友に4ページにわたって書くということはなかなかないことで、それだけ実績を認められている方だったという気がします。興味のある方はぜひお読みください。

山の部分がきました。2009年7月に村井達

ガバナー誕生。今と違ってさらに若くて。お聞きしたら「1年間はお酒を断ったつもりでガバナーに専念した」という紹介があります。興味のある方はぜひ読んでください。

八本八右衛門会長と小田山紀暢幹事がちょっと疲れ気味なので、励ましを。みんなで笑い転げて春を呼ぼう！

(八戸の) 星の王子様 澤藤孝之委員



6回目の年男の澤藤です。今月号のロータリーの友をご紹介します。

今月は平和構築と紛争予防月間です。それに関連した記事があります。スタートレックに出演された黄色のシャツを着た方がインタビューを受けています。ジョージ・タケイさんという方です。この方は87才で日系2世の方です。当然第二次大戦も経験しておられます。日系人が強制収容所に入れられたことで、japes keep moving (日本人出ていけ) white man neighborhood (白人が住む所) 強制的に退去させられて、捕虜収容所に入れられた。幼少期はけっこう裕福な暮らしをしていたようですが、これで無一文になってしまった方です。その辺の体験の話が出ています。現在はまだお芝居もしています。

ロータリーレポート。横浜で開催された会のレポート記事があります。End of Polio Now. いろんな地域のポリオ絶滅運動の活動紹介。2830地区の「津軽鉄道ポリオジャックを開催」記事が紹介されています。

ロータリー米山財団本部を紹介した記事。わきあいをやっている感じですので、ご覧ください。米山奨学生の紹介記事。東尋坊を旅行したときの写真が載っています。日本と中国では風習が違う。大きな違いは正座。

縦組み

渡辺孝さんが2710地区でスピーチした記事。渡辺さんはテレビディレクターで、NHKに去年の12月までおられた。NHK沖縄放送局に転勤になって、戦争についていろいろ考



え、戦争に係わるいろいろな番組を制作した話。戦争を語っていかないと、今はもはや“戦前”ではないかという話もあるみたいです。メディアの果たした戦争に対する役割も報道していこう。

渡辺さんが作った番組、特攻隊の番組。特攻隊で出撃しているいろんな飛行機の不調、天候などで特攻できなくて戻ってきた方がいるわけですが、そういう方だけが一緒に集められている寮があったそうで、次の特攻の命令を待つまでの間に行く寮。これが特攻隊員に示したマニュアルがあり、中身を紹介するのも悲惨な内容です。お読みいただいているいろいろなことを感じていただければと思います。

縦組みP12「この人を訪ねて」九州の久留米ロータリアンが紹介されています。ソウブンケンさんは台湾の方です。台湾で元々税関にお勤めの方で、トラックが商売になるということで、自分で商売を始められて今は久留米にいる。ロータリーのいろいろな活動で頑張っておられます。

この方の記事で、われわれと違うと感じたのは、息子さんに社長を譲られていて、アメリカに留学させている。近年の中国による台湾有事を懸念して、長女はカナダへ、次男はイギリスに留学させ、国際分散を図っているという記事が載っています。この辺はわれわれは日本に住んでいて、たいへんありがたいことに平和ボケで暮らしていますが、台湾の方は感じ方が違うなと思いました。

道尻誠助さんが川柳コーナーで入選されています。今回は“人”です。

「涙ため いじっぱりな子 我に似る」

災害協定に関するアンケートについて

紺野 広さん



道尻さんの柳壇は恒例のようになっていますが、一回俳壇に回されたことがあったそうです。柳壇が多すぎたせいかどうかはわかりません。俳壇に回されたのに落ちたという話でした。テレビに出ている夏井いつき先生がいらっしゃる間に、その高い壁をぜひ乗り越えていただきたいと思います。梅沢富美男に負けずに頑張ってくださいと思います。

昨年、八戸市との間に「大規模災害時における相談業務の支援協力に関する協定書」を締結しました。他のロータリーからも関心が寄せられていて、ここで足踏みをするわけにはいかないということで、渡辺さんから尻を叩かれアンケートを取らせていただきたいと考えています。

昨年、八戸市との間に「大規模災害時における相談業務の支援協力に関する協定書」を締結しました。他のロータリーからも関心が寄せられていて、ここで足踏みをするわけにはいかないということで、渡辺さんから尻を叩かれアンケートを取らせていただきたいと考えています。

渡辺さんは設計事務所を経営されているだけあって、1つのことを成し遂げるにあたってものすごい工程表がパッと頭に浮かぶ方のように、アンケートを作ってくださいました。そのアンケートをいつまでの期限で、その結果をいつ公表して、次に進む案件をみんなで相談するかが、日程まで決まっています。

先ほど申しあげましたように、ロータリーの友に災害協定について書きましたか？新聞記事を検索したのかと渡辺さんはおっしゃっていましたが、何かをご覧になって当クラブに問い合わせがありました。そのやりとりを3枚にまとめましたのでご紹介します。アンケートを取るにあたって、この協定の趣旨を話して欲しいと渡辺さんからご指示いただきましたので、ここでお話しします。

「お世話になります。先ほどはお電話で失礼いたしました。（事務局の田名部さんに電話があったようです。）兵庫県は淡路島津名ロータリークラブで本年度会長を務めております菊川と申します。貴クラブと八戸市の災害協定の記事を見てご連絡させていただきました。

した。津名ロータリークラブは2680地区淡路グループ5クラブに属しています。本年度は当クラブからガバナー補佐を輩出しており、来年2025年阪神淡路大震災から30年を迎える年となることから、「災害時にロータリアンに何ができるのか」というテーマのもとで淡路グループのIM開催を予定しております。

そのIM開催後に淡路島内3市（あわじ市、洲本市、南あわじ市）と淡路グループ5クラブで貴クラブが締結された、貴クラブから経緯や協定内容等をご教示いただけたらと考えて、ご連絡させていただきました。たいへん厚かましく失礼なお願いで恐縮ですが、お力添え賜りますようお願い申し上げます。」

問い合わせをいただいて、前年度の内容をわたしが一番知っているだろうということで、わたしのほうから返事をさせていただきました。経緯と実際に何をやっているかということに分けて、先方に概要をご報告申し上げます。

きっかけは国際ロータリー第2830地区DDS地区大会で行われた危機管理委員会、当時の築館ガバナーが県と地区ロータリーの間で災害協定締結をしようと提案しました。わたしもその時出席していた現橋本会長もすばらしい提案だと思っておりましたが、地区パストガバナーたちはロータリーの仕事ではないという態度で、具体的な内容も討議なされずに終わったことがあります。うちから出したガバナーに何してくれるんじやという感じの対応で、ちょっと腹が立ったのがそのときのわたしの気持ちでした。本当にすばらしい提案だったと今でも思っていますし、地区がやらないのなら当クラブでまずやろうというふうには、その日に思った次第です。

「災害発生時に金銭的な支援は元より、それぞれの職業を通し、被災地に直接貢献できる職能集団です。職能集団というのは、この前の職業奉仕委員会で村井パストガバナーからお話しいただいたvocation vocational serviceということと通じるものであり、わ

われわれの職業は奉仕のための天職であるということと同義であると思っています。

発生時も平時の職業奉仕を被災状況に即して能動的に変化させて対応ができるはずです。ロータリーはそうあるべきと考えています。わたしはロータリーのやることを枠をはめ、狭い範囲に決めつけ固定化することには反対でした。ですので、締結をしたことを経緯としてご報告しています。」われわれと違って、もう3市、5クラブで締結するという幅広い枠組みでの締結ですので、順調に進んでいたきたいとエールを送らせていただきました。

災害協定内容

われわれが行ってきた昨年度のライフライン関係の事業者、メディア、損保、建設業界、葬儀屋など災害時の初動に関する業種からいただいた卓話に関する紹介もしました。

わたしが卓話の中で一番感動したのは、正部家光彦さんの中学校での活動です。子供たちを中学校の中で三日間ほど親御さんたちと連絡を取りながら二次被害の可能性のある中、励まし合いながら過ごした三日間のお話は心に残っています。皆さんそれぞれの職業の中でいろんなことをやっていたことを勉強させていただきました。

わたしは一番行政がひっ迫するのはやはり発生直後であろうと思います。そのときに行政にプッシュ型で何をやればいいですか？というのかえってご迷惑になるのかなとも思っていますが、やる事が決まっていればご迷惑をかけずに、きちんとした対応ができるのではないかと考えています。

市の部長を歴任された高谷さんが行くと、いろんな人がぺこぺこ頭を下げて、話がひじょうに持っていきやすかったです。実際に市の方でも現在マニュアルを作っている段階で、われわれの申し出をどの形で実現していくか検討する段階で、具体的な話には至っていません。ただ、発生直後でなくても、急性期でもきちんといろんなことができるのではというふうに思っています。

医療に関しては、阪神淡路大震災のときに“防ぎ得た死”という概念ができました。6,000人超の死亡者の中の500人程度はきちんと急性期にちゃんとした医療が提供できれば助け得たということでDMATができています。ただDMATもできてすぐは不寐な医療者集団という感じで現地では捉われ方をされることが多かったです。何をやるんだ、われわれに任せろ、みたいな、被災地の感情を逆なでするような活動があり、いろんなブラッシュアップであったり、反省が都度災害でなされ、今に至っています。

この相談支援業務というのも今行政がいろんなところから支援をしに被災地に行っていますが、なかなか有効なものになっていないのも実情のようです。そんな中、われわれがロータリーとして相談支援業務といっても難しいところもあろうかと思えます。ですから、まず勉強したいと思えます。いろんな、そういうことをやっていらっしゃる方からお話を聞いた上で、われわれの活動のあり方を検討していきたいと思っています。

ロータリーとして何ができるか。これも医療と同じで、都度災害時に少しずつブラッシュアップしていくということで、協力の幅が広がっていくと思えますし、実効性のあるものになっていくのではと考えます。

アンケートを渡辺さんに作っていただきました。本来は19日にお願い申し上げようと思いましたが、プログラムの変更がありましたので、今回、横組みA4のものを皆様のお手元にお配りしています。こんな内容で期限を決めて改めて見やすい形でメールかFAXでお送りしてアンケートを行いたいと思います。自由記載のところを多く設けていますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければありがたいと思っています。

最後になりますが、他県のロータリーからも注目されていますので、先駆者としてしっかりと進んでいきたいと思っています。ご理解のほどよろしく願いいたします。

出席報告						出席委員会																	
第3343回例会（2月5日）			第3341回例会（1月22日）																				
出席率		65.1%		出席率		61.5%		修正出席率		64.6%													
総会員数		66名		出席数		41名		総会員数		66名		メイクアップした人数		2名									
出席義務会員		63名		出席免除会員		3名		欠席数		22名		出席義務会員		65名		出席免除会員		1名		欠席数		23名	